

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

1. 県内の精神科病院は11病院。全国的に見ても少ないことから、少ないからこそできる取組。
2. 各保健所に福祉系専門職と保健師が精神保健係に配属されており、お互いの視点や価値などを協働した取組。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
各市町村の取組にバラツキが見られ、医療・保健・福祉の協議する場が脆弱。	市町村の取組の前に保健所圏域での協議の場が必要であるため研修会を開催し、保健所圏域における医療・保健・福祉の核となる人を集め、奈良市におけるモデル事業の取組を報告。	県内の医療・保健・福祉の核になる人たちが精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の必要性を認識し、年度内に3カ所で協議の場を設置見込み。他の圏域(郡山)で構築推進事業実施の気運が高まっている。
保健医療計画と障害福祉計画の整合性を計りながら地域移行を促す基盤整備の推進。	保健医療計画と整合性を計りながら、障害福祉計画を策定	県障害者計画は今年度策定完了見込み

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①各保健所における協議会の設置数	2	4	3
②県・市町村計画に基盤整備の数値目標を設定			県障害福祉計画に基盤整備の数値目標を設定

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。